

The 293th Programming Deliberation Committee

第293回番組審議会 議事録

開催日 2025年11月18日(火)

出席者：山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：『小林萌花の ほのクラ。』

放送日時：2025年10月6日（月） 23:30～24:00

DJ：小林萌花

会社からの説明

本番組は、2025年10月にスタートしました。

パーソナリティはアイドルグループ『BEYOOOOONDS』のメンバーであり、
東京音楽大学ピアノ演奏家コース出身の小林萌花。

時にゲストをお招きし、若手クラシック演奏者ならではの視点と本音で、クラシック音楽の魅力や未来を伝え、
クラシック音楽の若い才能と若いファンが集うような番組を目指しています。

委員からの意見・感想

審議委員 A

パーソナリティをつとめる小林萌花さんの空気感、話すペースが心地良く感じた。

ただ、パーソナリティをつとめる小林さんに多くの部分が委ねられているように感じられたので、
より彼女の魅力が伝わるように、番組の中身や構成について、周囲のサポートが必要なのではないか。

審議委員 B

クラシック音楽番組が編成されていることを評価したい。

クラシック音楽の復権、復興を掲げることは意義のあることで、
それこそが放送局、ステーションの価値なのではないか。

11月3日の放送回では、ピアニストの稻積陽菜がゲストで出演していたが、
プロ同士の会話が、知らない世界を知ることが出来たようで、一人喋りの回よりも、面白く感じた。

審議委員 C

ゲストの稻積陽菜さんとの同世代の会話は、

まるで部活動の延長線上でトークをしているような、瑞々しさや面白さがあった。

また、若手と大御所との掛け合わせといった世代間のギャップを番組に持ち込んでも、
おもしろさや権威付けになるのではないか。

審議委員 D

旧知の稻積陽菜さんがゲストで登場した回は、リラックスして気を許した部分もあったと思うが、トーク内容が2人の間で完結されてしまい、もう少しリスナーの存在を意識した方が良かった。クラシック音楽はしっかり聴かないといけないところがあり、それが悩みでもあるので、こうした番組がクラシックの裾野を広げていってくれることを期待している。

審議委員 E

トークの間に流れるクラシック音楽も、作業をしながら聴取するのにぴったりだった。ピアノ演奏を含んだ公開収録イベントがあつたら良いのではないか。クラシック音楽はただ聴取するだけ以上の力があると思うので、こうした番組を通してクラシック音楽に親しむ世代が広がることを楽しみにしている。

一公社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上